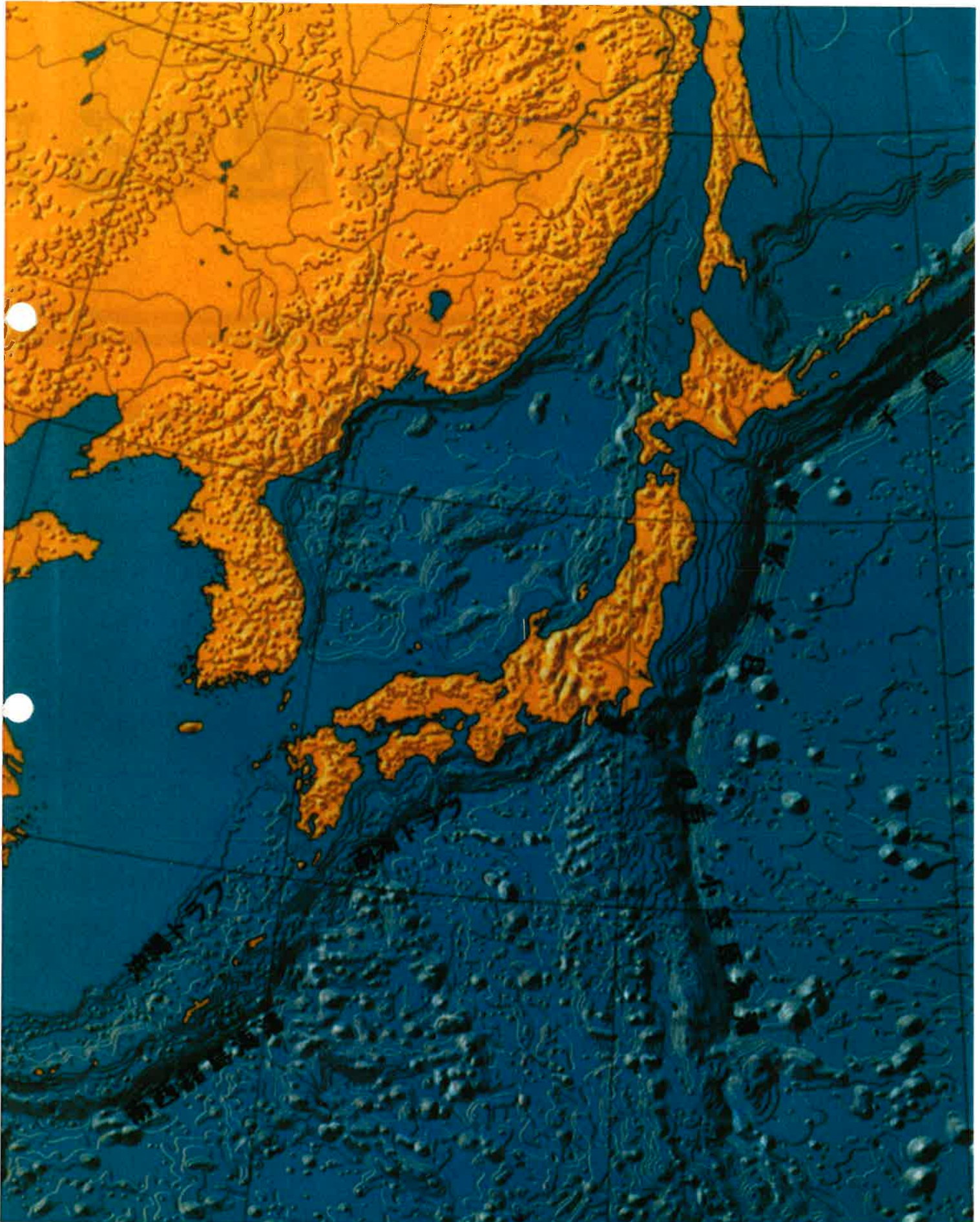


# 日本近海の海底地形







地球構造

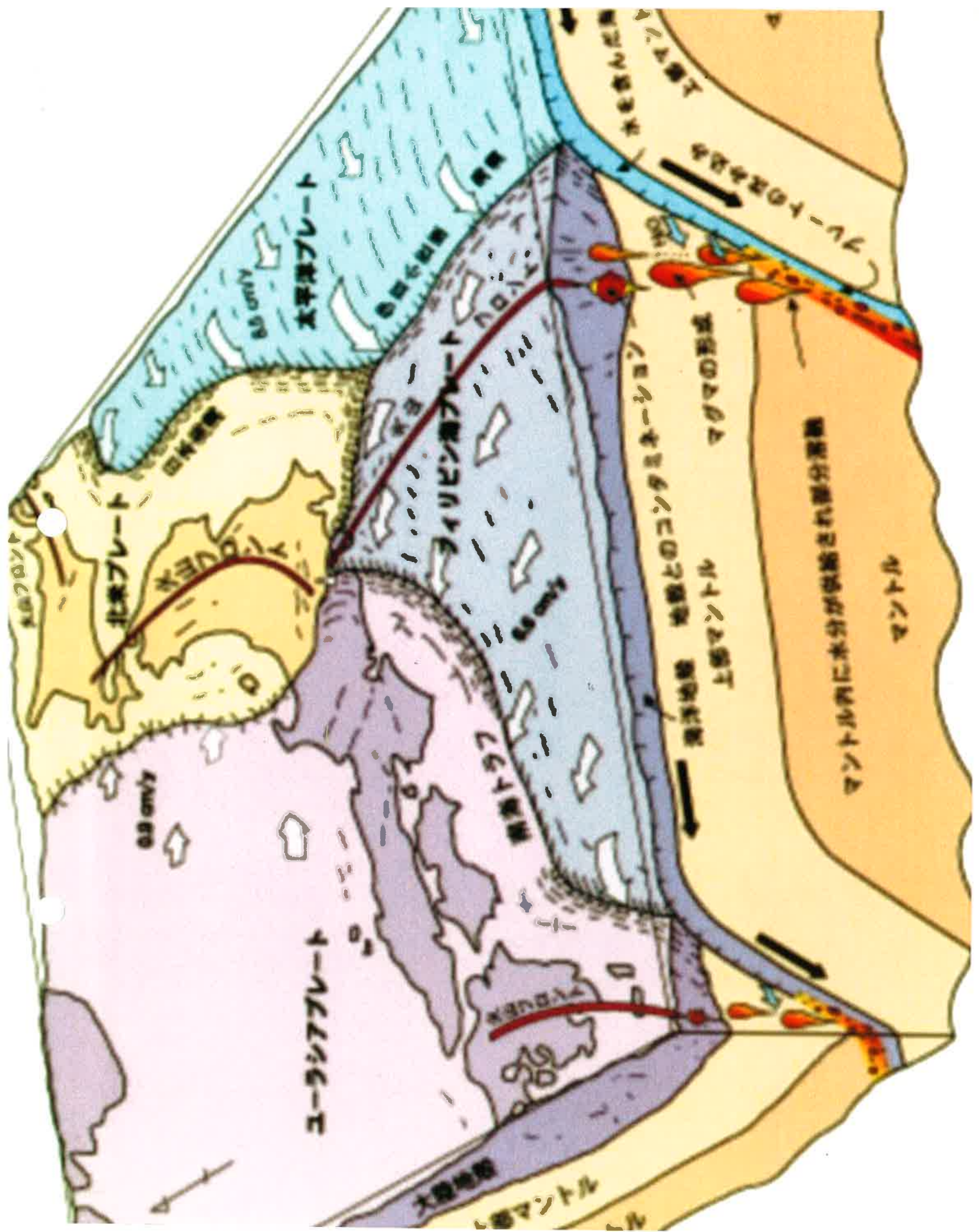


図 6.4 18 世紀以降の関東-四国太平洋側で  
 起こった M 8 級巨大地震の震源域

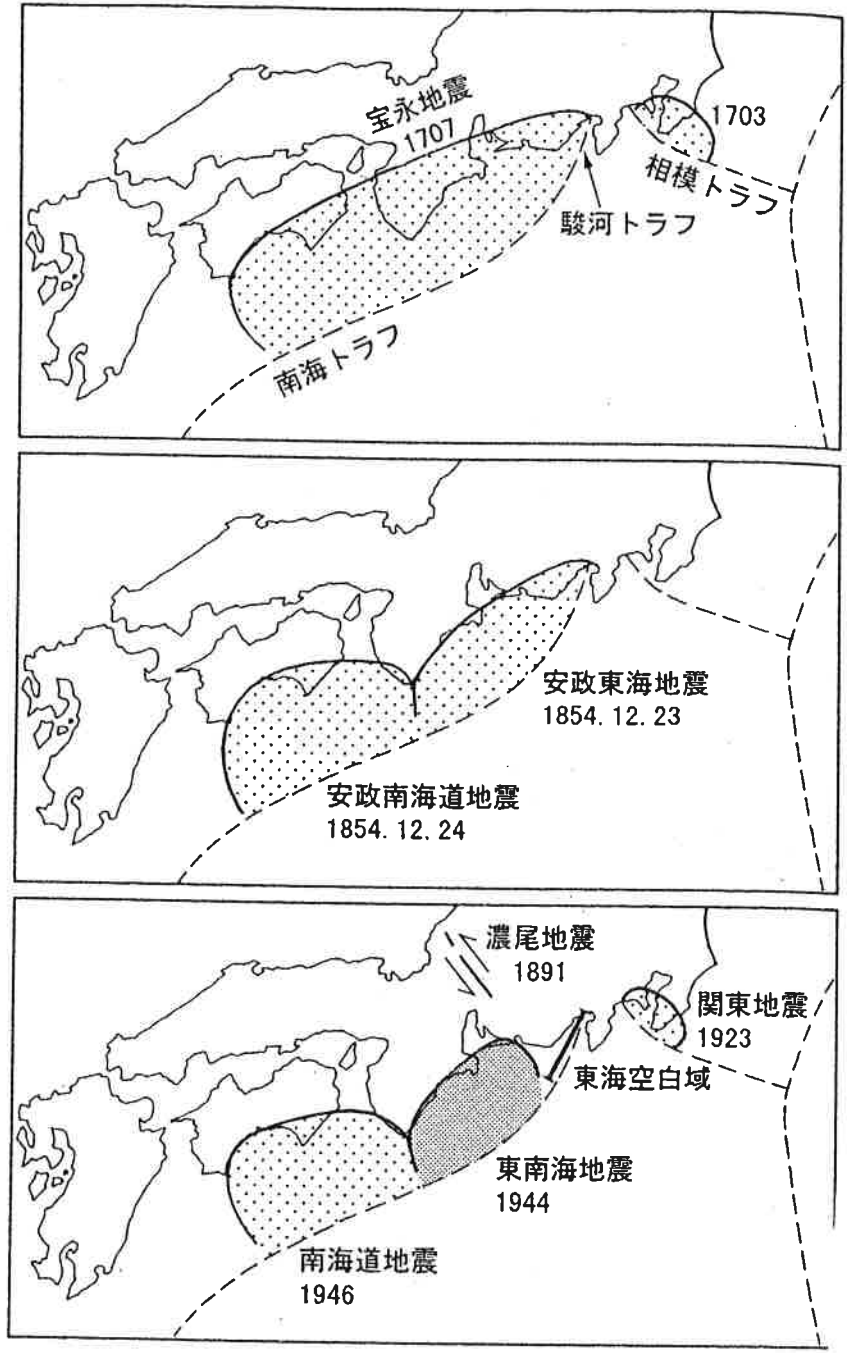
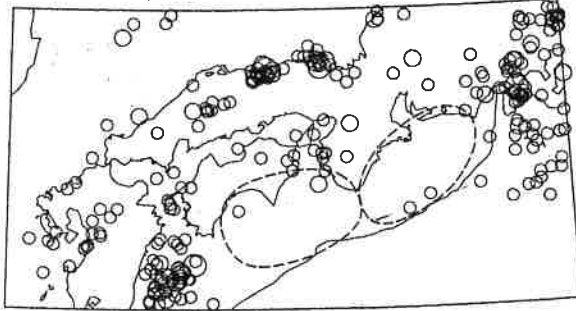


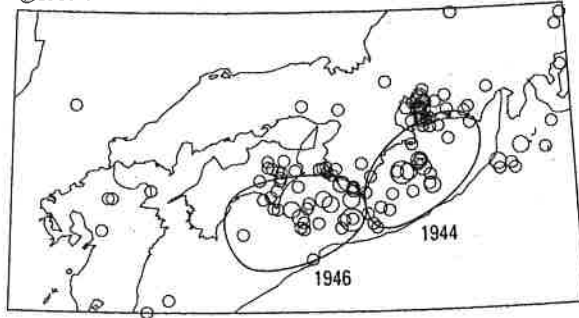


図 8.7 1944 年東南海地震と 1946 年南海道地震前後における地震活動の推移

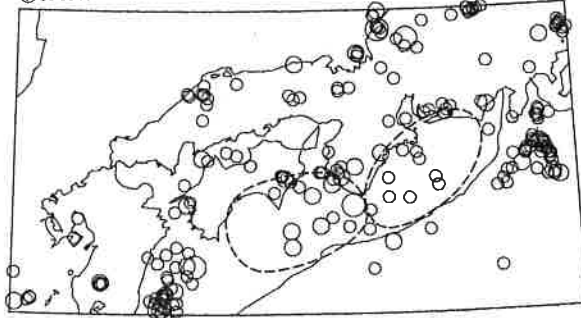
①1926.1.1~44.12.6



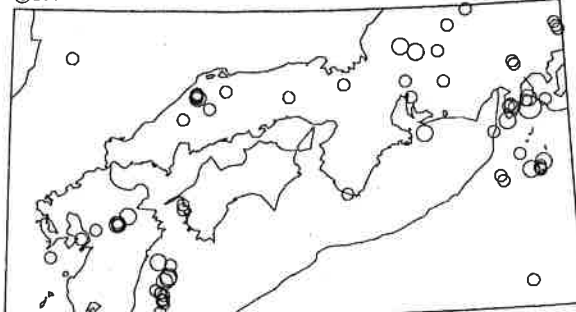
②1944.12.7~47.12.31



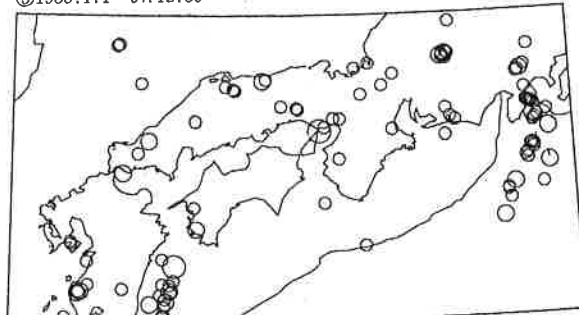
③1948.1.1~68.12.30



④1969.1.1~82.12.30



⑤1983.1.1~97.12.30



## 東北地方太平洋沖地震の大津波警報のアンケートのまとめ

### 1. 避難状況

- 1) 4. 5. 6 町内会 (青少年の家)
- 2) 7. 8. 11 町内会(港小学校)
- 3) 1. 2. 3. 9. 10. 12 町内会 (石津防災センター)

### 2. 各避難地の感想

- 1) 青少年の家 TV, 飲料水、アルファ米、カンパン、階段、寒さ対策
- 2) 港小学校 階段、寒さ対策、避難案内、飲料水、アルファ米、カンパン
- 3) 石津防災センター TV、アルファ米、飲料水、収容能力
- 4) 避難地外・その他 藤枝方面、イオン、高齢者・障害者の声

### 3. 大津波警報について

#### 1) 同報無線 (広報)

- イ、聞こえる、聞こえない
- ロ、同報無線の評価 地域一斉に知らせる為に絶対に必要なもの
- ハ、通知方法、サイレン、防災ラジオ

#### 2) 大津波警報と避難判断

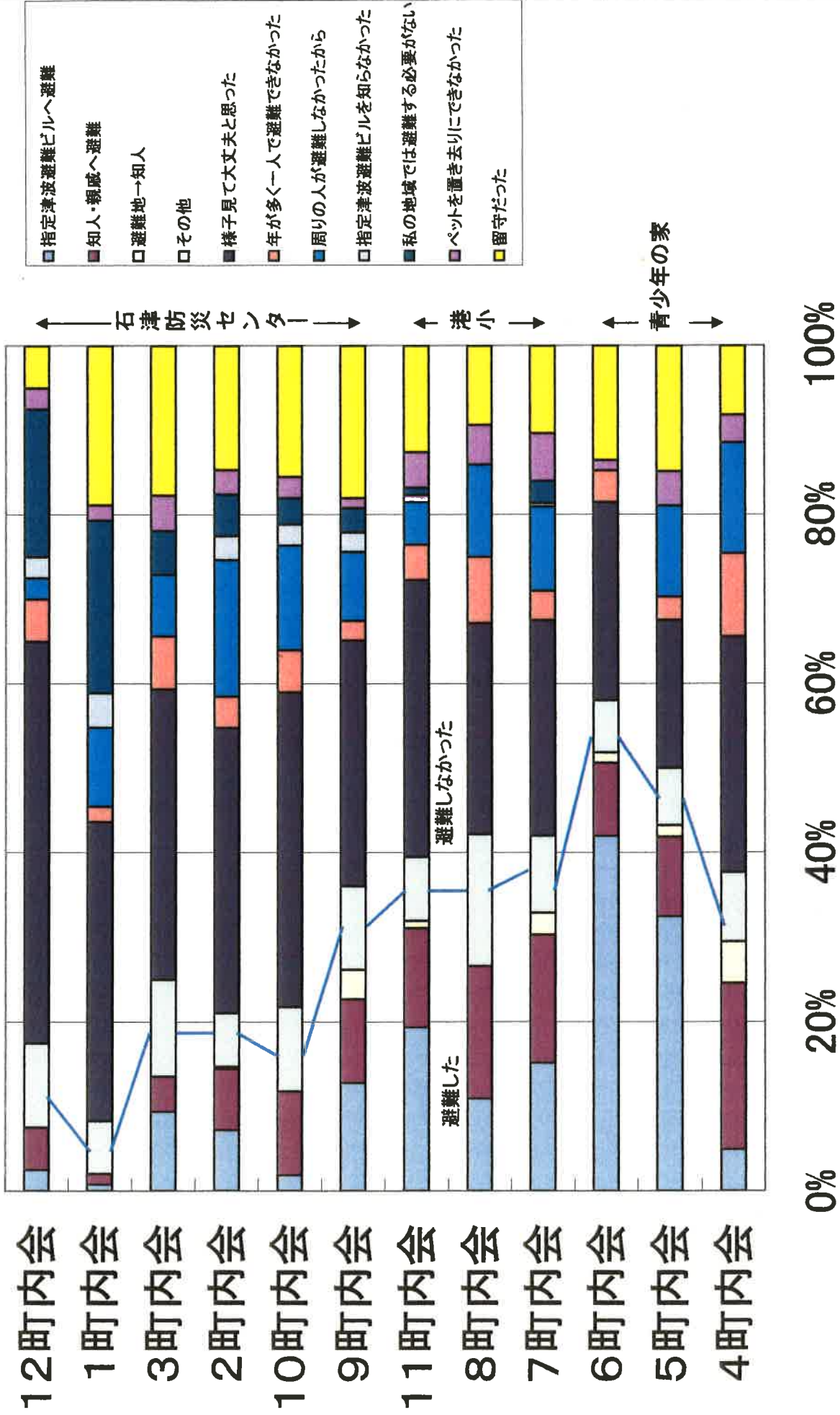
- イ、津波注意報と大津波注意報 大津波注意報—これまで聞いたことが無い
- ロ、大津波注意報と勧告 大津波注意報=気象庁、勧告=自治体
- ハ、警報と勧告の内容が理解されていない、いざと言う時に躊躇無く理解と行動が取れように訓練

#### 3) TV 等による災害情報から

- イ、恐怖、津波に対する認識
- ロ、普段の準備 非常袋 持ち出し品の確認 避難時の確認 (電気、ガス)  
家族連絡
- ハ、高台(建物)の要望 場所、用地、民間建物
- ニ、訓練の要望 訓練内容、小川小学校への避難(4 又は 5 会場)
- ホ、小川小学校避難 防災倉庫、防災用具
- ヘ、堤防の補強 強さ、高さ
- ト、水門設置の要望
- チ、内港の埋め立て
- リ、夜間の公共施設への避難 避難が可能か

# 東北地方太平洋沖地震アンケート集計 H23.4

## 港第14自主防災会







車で藤枝方面に避難  
 体調が悪く避難できなかった  
 祖父が家に居ると言ったので、長男も家に居た  
 車で家族3人でスーパーの駐車場に居た  
 家族と連絡取れなかった  
 近所の一人暮らしの方、体調が悪く早く歩けないので大変でした、車椅子が欲しいと思った  
 高齢者が居て、避難地までの往復が大変とってしまった

## 6町内会

介護中の親の避難方法を考えさせられた  
 身内の居る、大島地区に避難  
 点滴をしている為、避難場所に行くのが大変  
 小川港を見て津波は来ないと判断  
 舟の見回り後親戚に避難  
 寝たきりの妻と二人、年も多く避難できなかった  
 妹の家に行ったが疲れた  
 家族は避難したが、私は足が悪く避難しなかった

## 7町内会

藤枝の親戚に避難  
 干潮で川に水が少ないので、家族を帰宅させた  
 主人が避難しないと言った  
 夜間、港小学校では避難ビルと言えるのか  
 高齢者、障害者二人ではどうにもならない、手足不自由、外にも出られない  
 高齢者二人、娘の所へ避難  
 自分たちが住んでいる地区の海拔高さを知りたい  
 病人が居るため避難しなかった  
 車でジャスコの屋上へ、その後親戚へ  
 小学校では不安、車で藤枝方面へ避難  
 義母と息子家族とで藤枝の親戚へ  
 家族に車椅子の高齢者が有り、避難が困難だった  
 車椅子の母を連れ、度のように2Fに上がるのかと考え、引き返した  
 最小は避難所へ行ったが、体調が悪くなった為、自他へ帰った  
 三ヶ名の息子の家に避難、静か過ぎて津波の心配なし  
 家の中に居て聞こえなかった  
 看護5の病人を連れて、家族で1泊

## 11町内会

親戚の姉家へ避難、4時間位で帰宅  
 93歳の母、車椅子が無いため、車でイオンへ  
 親戚(病人)が避難してきた為、避難しなかった  
 高齢者、幼児が居るため避難しなかった  
 津波注意穂の段階で高齢者を親類へ預けた、わり  
 車で避難地の駐車場へ、社内でTVを見、様子を見た  
 車でイオンに避難した  
 病人が居たので避難しなかった  
 ジャスコに避難  
 老齢の親を一人では連れ出せなかった  
 風邪気味で寒かったので避難しなかった  
 身障者が居る為、避難しなかった  
 高齢者だけ親戚へ避難させた

## 3町内会

介護2の母が居る為  
 絵画5の夫を連れて、他の肩に迷惑をかける  
 西小川の実家前の公園に避難  
 病人を抱え如何することも出来なかった  
 車で藤枝の高台へ  
 母が動けないので避難しなかった  
 親は仕事、小学生二人と幼児は避難地へ  
 市立病院と消防署は避難出来ませんが  
 孫を保育園から引き取り、親戚に避難

## 10町内会

避難勧告の出ていない地域の親戚に避難時のお願い、指示になったら避難の待ち  
 高齢者が避難するのを嫌がった、寒くて風邪を引くのが嫌だった  
 津波注意穂の段階で高齢者を親類へ預けた、われわれも同時に避難  
 初めに自主防災会の役割とは、を教えてください

		合計	4町P 小計	5町I 小計	6町内会 小計
k	広報 もう少し早くても良いと思った	1	0	1	0
	時間が経つにつれ、警報は必要と思った	1	0	0	1 1
	広報も大事であるが、ラジオ・TVも聞くことが大事	1	0	0	1 1
	非常板、サイレン、半鐘、近状への掛け声で避難を	1	0	1	0
	防災ラジオに改良がほしい	1	0	0	1 1
	警報は緊迫感を持って	3	0	2	1 1
	1秒でも早く放送してほしい	1	0	0	1 1
	同報無線や車でもっと警報を出したほうがいい	2	0	1	1 1
	広報が定期的に流れていたのが良かった	2	0	0	2 1 1
	広報もっと聞こえが良くならないか	2	0	1	1 1
t	広報が聞き取りにくい(こだま、音の割れ、風向き、位置が遠い)	5	1	0	4 1 1 1 1
	警報は迅速(適切)に行われたと思う	19	6	8	5 1 1 1 1 1
	警報をいち早く大きな声で知らせしてほしい	0	0	0	0
	TVを見ながら警報を聞いていた	2	2	0	0
<b>基準</b>					
	震源が宮城沖なので大丈夫かなと判断、後はTVで	2	1	0	1 1
	広報の警報を聞いても半信半疑、避難に迷った	2	0	2	0
	オロオロ、頭は真っ白、何を持っていくのか、避難まで時間が掛か	1	1	0	0
	警報で避難すべきか判断できない	1	1	0	0
	警報も必要だが過剰になり過ぎない様に	2	1	0	1 1
	不安はあっても避難行動するまで行かなかった	1	0	0	1 1
	避難行動に迷い、避難するのが遅かった	1	0	0	1 1
	初めての天津波警報でかなりの不安を感じた	2	0	2	0
	TVで状況を把握しながら避難	3	0	1	2 1 1
	警報と勧告の関連を明確に	1	0	1	0
	来もしない津波に天津波警報、狼少年です、非常に危険です	1	0	0	1 1
	来るものが来たと思った	1	0	0	1 1
	どの時点の警報で避難が良いか	1	0	1	0
	より早く青少年の家へ避難	1	0	0	1 1
	沿岸部、津波警報は急を要する、いろんな形で警報を	1	0	0	1 1
	避難が遅く、まだまだ意識が薄い	1	0	0	1 1
	8・11の地震も大丈夫だった、今回も大丈夫と思った	2	1	0	1 1
	警報の解釈、周りの温度差が激しすぎる	0	0	0	0
	状況が分からない中、地域の方々の声掛けは避難の後押しにな	1	0	0	1 1
	迷った、実家に避難	1	0	1	0
	どんなタイミングで避難地から帰宅するか迷った	1	0	0	1 1
	初めは信じられなかった	1	0	1	0
	これから注意して対応したい	2	2	0	0
	天津波警報の場合、避難指示を明確に出してほしい	1	0	0	1 1
	身支度はして様子見	1	0	1	0
	警報が出たら避難するように肝に銘じた	1	1	0	0
	津波警報が出たら、波の高さによって避難する	1	1	0	0
	大勢の人が避難しているのを見て怖くなった	1	0	0	1 1
	天津波警報は避難指示に直結させるべき	1	1	0	0
	今まで津波といっても結局来ないジャン	3	0	2	1 1
	家族がまとまっていなかった為、様子を見た	1	0	0	1 1
	駿河湾の地震でもないのに避難とは	1	0	0	1 1
	天津波警報、ただ事ではないと直感	2	0	0	2 1 1
	避難する人しない人、自己判断は危険だと思う	1	1	0	0
	警報が出ている間は帰宅しないこと	2	0	0	2 1 1
	騒いだ割に大したことが無かった	1	0	1	0
	80cmだから安心した	1	0	1	0
	長時間の警報、心配しながらTVをみていた	3	1	0	2 1 1
	川を見て気にしていた	1	1	0	0
	心配ないだろうと、そのときは考えていた	1	1	0	0
	干潮時、海面は地表より3M,2Mの津波が来ても大丈夫	1	1	0	0
	天津波の時間の余裕があったので非難できた	1	0	1	0
	津波の到達時間等を	1	1	0	0
			0	0	
	いざ津波が来たら逃げるのにせいっぱい	1	1	0	0

		7町8田11町内会			
		合計	小計	小計	小計
	各家庭に有線システムを	1	1	0	0
	携帯電話での通知はできないのか	1	0	1	0
	サイレンは良く聞こえるが、広報内容が聞き取れにくい	1	1	0	0
	これからは広報に関心を持たなければ	1	1	0	0
	もう少し情報を分析して発信を	2	1	1	0
	港小の広報のスピーカ、高くして欲しい	1			1
	警察も回っていたので警報の内容も把握で来た	1	0	1	0
	車で運転中の人にも津波意を知らせる方法を	1	1	0	0
	何を基に焼津市に大津波警報を出しのか、避難する必要があつ	1	1	0	0
	TVで地震状況を知った	1	0	0	1
緊迫	警報は緊迫感を持って	5	2	0	3
	本当に避難の必要な時には、広報車で知らせて欲しい	1	1	0	0
	徹底して呼びかけを	1	1	0	0
	1秒でも早く放送してほしい	1	1	0	0
	広報、もう少し具体的に	1	1	0	0
	サイレンを大きくしてほしい	1	1	0	0
	情報が少なく不安	1	0	0	1
	家でTVをつけていると聞こえない	1	0	0	1
	窓開けなければ広報が聞こえない	2	0	0	2
	はっきり伝えてください	1	1	0	0
	サイレンがもっと鳴れば避難したと思う	1	0	0	1
	解除されたときのサイレンはやめてほしい(ドキッとした)	1	1	0	0
	大津波は過大ではないか、	2			2
	広報もっと聞こえが良くならないか	6	4	0	2
	広報が聞き取りにくい(こだま、音の割れ、風向き、位置が遠い)	40	19	2	19
	長い時間だったので緊張感がうすれてしまった	1	1	0	0
	仕事で警報が良く聞こえなかった	3	0	0	3
t	警報は迅速(適切)に行われたと思う	23	7	7	9
j	発令から解除まで時間が長すぎる	5	2	3	0
	TVを見ながら警報を聞いていた	1	1	0	0
	サイレン・広報、頻繁に有り過ぎ、子供が怖がる	1	0	0	1
	防災ラジオの感度が悪い	1	0	0	1
	メール連絡が有るといい	1			1
	サイレン、携帯で警報を知り、ワンセグで様子を知る	1			1
	各家庭に警報器を	1			1
	地震の知らせ、津波の知らせの通知音を別に	1			1
	警報を知らず、隣組の方に声をかけてもらった	1	0	0	1
	大きなサイレンの音が鳴り響き始めての津波警報、怖かったです	1	0	0	1
	警報発令時はすみやかに避難	1			1
	震源が宮城沖なので大丈夫かなと判断、	12	1	1	10
	広報の警報を聞いても半信半疑、避難に迷った	7	3	0	4
	オロオロ、頭は真っ白、何を持っていくのか、避難まで時間が掛か	2	1	0	1
	大津波警報の緊急性が理解できなかった	1	0	0	1
	警報と避難の捉え方の訓練	1	0	0	1
	不安はあっても避難行動するまで行かなかった	4	2	0	2
	一人で如何した良いか分からなかった	2	1	0	1
	初めての津波警報でかなりの不安を感じた	1	0	0	1
	TVで状況を把握しながら避難	3	2	1	0
	TVの警報は恐怖ばかり、気持ちばかりが煽られた	3	1	1	1
	何処までの地域が避難すればいいのか分からない	0	0	0	0
	避難する人が少ないと思った	2	0	1	1
	初めての警報、どの程度なのか分からなかった	1	1	0	0
	津波警報は急を要する、いろんな形で警報を	1	0	1	0
	どのタイミングで避難した良いのか	1	0	0	1
	避難勧告の指示は適切でなかった	3	2	0	1





今回の様な津波が来るかと思うと不安	4 1 1 1 1
自分の無力さにもどかしさを感じる	1 1
助け合うことの重要性を感じた	1 1
両親が気仙沼に住んでおり大変だった	1 1
M9クラスの東海地震では、焼津での津波高さ、何分で来るの	1 1
年寄りを連れての避難はできるのか	1 1
他見で仕事をしていたので、地元が心配だった	1 1
一時避難地では危ないと思い、貴重品・食料を積み内陸5Km	1 1
日本に居るなら、地震は付き物、備えなくては	1 1
漁港として何度も入港した、一日も早い復興をお祈りします	1 1
一日も早い復興を願う	4 1 1 1 1
大きい地震・津波が来ないように祈っています	1 1
警報が出たら避難するように肝に銘じた	2 1 1
液状化現象	1 1
老人は早めの避難	0
横浜から引っ越してきた為、津波の不安が大きい	0
冷静に行動できるか不安	0
0	0
0	0
0	0
0	0
国を挙げて支援をしなければならないと思う	1 1
人事ではない	8 1 1 1 1 1 1 1 1
次回から警報が出たら避難正と思う	1 1
リュックを用意して寝る事にしている	1 1
防災訓練、地域の人の助け合い	1 1
家族で防災地図で海からの距離・どの辺りまで逃げればの話	1 1
避難先・方法するか家族とも話し合う	4 1 1 1 1
避難方法を考えなければ	1 1
避難訓練に参加したい	1 1
旧小川港埋め立てて津波対策を	1 1
避難場所を確認しておく	1 1
少しだけ募金しました	1 1
非常袋の見直しをした	1 1
各地区に5Fの避難場所を	1 1
油タンクは10Mの水位でも流失ないように	1 1
家族で素早く高台に避難することを話し合った	1 1
家具の固定・3日分の食料・水の準備	1 1
津波を想定した訓練がしたい	3 1 1 1
避難訓練を多く	2 1 1
警報が出たら速やかに避難を	1 1
食料等避難所に用意するしかない	2 1 1
自分のことは自分で(食料・避難グッズ)	5 1 1 1 1 1
地域毎に安心できる緊急避難所を	5 1 1 1 1 1
一時避難地の見直しと周知	1 1
防災訓練のあり方の検討と訓練の実施	1 1
東海地震の見直し	2 1 1
ハザードマップの見直しを	1 1
津波に対する安全な場所の確保を	2 1 1
堤防の高さの再考を	1 1
浜岡原発はM10に耐えるように	1 1
夜間訓練を	1 1
避難について息子たちと話し合いました	1 1
発電源の見直しを	1 1
大津波に対応した防災訓練を	2 1 1
想定外の津波、認識を変えて地震・津波対策を	3 1 1 1
津波情報を一刻も早く皆に聞こえるように	1 1
公園だけでなく高いところを	1 1
15mぐらいの防潮堤を	1 1
皆の寄付で避難場所を	1 1
津波を甘く見ない	1 1
自身が着たらすぐに高台へ	1 1
0	0
0	0
0	0

消防防災局





小川源水

